# 西荻地域(仮称)デザイン会議　道路用地の利活用部会
# 社会実験チーム　アイデア集

道路拡幅計画に伴い生まれる空地を、地域の暮らしにどう活かせるかを検討する部会です。検証と改善を重ねて杉並区に提言するため、社会実験のアイデア集を作ってみました。皆さんのアイデアも聴かせてください！

※スケッチや写真はすべてイメージです

## こどもの遊び場

ベンチや舗装の在り方や居場所の作り方をイベントを機会に検証してみる。
まちをつくる建物と連携した道の在り方・使い方を実験的に体感してみる。
雨庭や植栽のつくりなども一緒に併せて検証してみる。




植栽とベンチ・舗装の在り方を検証


出展URL：https://humanscape.main.jp/projects/placemaking/

まちとみちと環境のつながり

場所の使い方と作り方を実験してみる

植栽やベンチのある場所を建物と一体で使ってみる

公園のような道空間の実験

## 雨庭　ベンチ　植栽中木

これまでデザイン会議やさとことブレストで出た意見のいくつかを複合して、実際に西荻のまちでやってみる。





出典URL：https://s-sr.jp/about/

目的：
空地をパブリックスペースとして活用。
これまで地域から出た意見を基に、
社会実験をする。

期待する効果：
地域の意見が現実化したものを通し、
これからの西荻のまちづくりを
考えるとともに、まちへの作用を検証する。

向き合いたい課題：
みどり、滞留スペース、ベンチ、雨庭

実施イメージ：
中木を中心に滞留スペースをしつらえその
利活用を通し、課題や改善点を
見出していく。

## 道路で知りたい・みんなで知りたい　132まちづくりエース

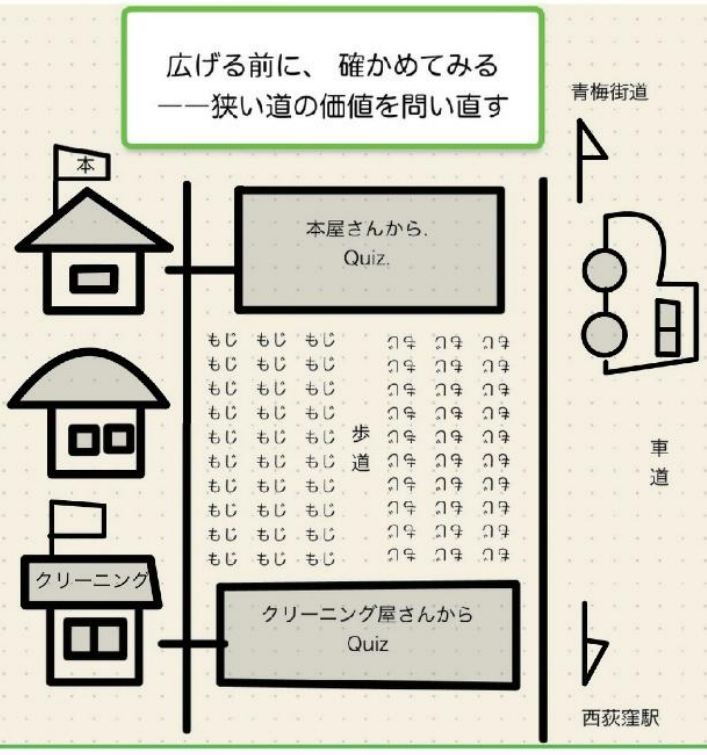



目的：
①132 号線（北銀座通り）を中心とした、都市計画や市民活動、西荻デザイン会議の活動をたくさんの 132 号線（北銀座通り）ユーザーの方々に広く紹介する
②132 号線（北銀座通り）ユーザーの方々と実際に出会い、まちづくり的視点で解決したほうがよい困りごとや、まちの未来に期待することなど、お茶を飲みながら話をすることで、みんなで まちや西荻の暮らしについて語り合う

期待する効果：
道路というパブリックスペースを、手軽に使い倒す手法を定着させて、他の人も使ってみたくなる
普段なかなか情報に手が届きにくい、実際の道路ユーザーの皆さんに、直接、情報を届ける
実際の道路ユーザーの皆さんの、生の声を聞き、これからのまちづくりに活かす

実施イメージ：
大がかりなイベントにするより、日常の延長線上で実施する。2026 年 2 月 14 日実施のデザイン会議で展示した、デザイン会議の各部会の展示物をより多くの人に見てもらう場とし、132 号線の道路計画も紹介しつつ、道行く人たちと楽しく意見交換する場にする。ちょっとだけデザインした机やイスなどの什器を置き、お茶やアルコール！？をお供に、のんびりおしゃべりできる場にする。

## 広げる前に、確かめてみる
## ――狭い道の価値を問い直す




歩きながらスマホを見るなんてもったいない。そう思えるほどおもしろい道を、今の道幅のままで作れないだろうか。

そこから、この社会実験の発想が生まれました。

落書きをしてみたい人や子どもに集まってもらい、狭い歩道を1日だけのキャンパスにします。商店の皆さんにも協力していただき、店先の路面には商店オリジナルのクイズを展開。答えを知りたければ、お店においでって。ついでに、自然とおしゃべりも始まるかもしれません。

雨が降ったら、落書きはリセット。また落書き画伯たちに、ご登壇を願いましょう。

この実験は、道を広げるかどうかを決めるものではありません。私たちはどんな道を心地よいと感じるのかーーその感覚を確かめてみたいのです。

私たちはこの道にどんな価値を求めているのか。立ち止まって、確かめてみたい。

※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。

# 西荻地域(仮称)デザイン会議　道路用地の利活用部会
# 社会実験チーム　これまでの意見

さとことブレストやデザイン会議など、区民と行政の対話の場で今まで出された意見の一覧です。

## 1．空地の捉え方・前提認識

- 道路事業により取得された用地が、完成まで長期間空地として残る
- 道路完成までの間に、まちのにぎわいが失われることへの懸念がある
- 何もしないと草が生え、管理されない場所になってしまう
- 空地は「問題」ではなく、まちの可能性を広げる資源として捉えたい
- 限定的な面積だからこそ、実験的な取組に向いている
- 道路ができるまでの「途中の時間」をどう使うかが重要

## 2．活用の基本的な考え方

- 取得用地は暫定利用を前提に活用したい
- 一度に決め切らず、試しながら改善していく使い方がよい
- 社会実験やプレイスメイキングを通じて活用方法を探りたい
- 小さく始め、検証し、更新を重ねていくプロセスを大切にしたい
- 行政だけでなく、住民・商店・民間が主体的に関わりたい

## 3．にぎわい・日常利用に関する意見

- 商店街利用者のための駐輪場として活用したい
- 休憩できるベンチを設置したい
- 交流の場として使いたい
- イベントスペースとして活用したい
- 子どもの遊び場として使いたい
- 商店街のにぎわいを継続させたい
- 物流・荷さばき車両の一時停車スペースとして活用したい
- 歩行者と荷さばき動線が交錯しないように安全に配慮したい

## 4．グリーンインフラ・環境に関する意見

- 透水性舗装を導入したい
- 雨庭を整備したい
- アスファルトではなく、土の地表面を増やしたい
- 空地をグリーンインフラとして位置づけたい
- 雨水管理の取組を行いたい
- 樹木や植栽を取り入れたい
- 樹冠の豊かな緑を育てたい
- 花や緑による景観づくりを行いたい
- 食べられる緑を植えたい
- まちなかにみどりを増やしたい
- 西荻らしい緑のある道路空間を考えたい
- 草地と樹木が同じ評価になっている現状を見直したい
- 街路樹の考え方を見直したい

## 5．文化・交流・学びに関する意見

- 空地や公園でワークショップを行いたい
- グリーンインフラについて学ぶ勉強会を開催したい
- 建築・環境などに詳しい人による展示や博覧会を行いたい
- 国際的なアート・音楽・演劇・文学などのフェスを開催したい
- 実験的な取組を通じて、会議に来ていない人にも関心を広げたい
- まちの現状や課題を地図に落とし込みたい

## 6.進め方・体制に関する意見

- 取得用地・空地活用を検討する部会を立ち上げたい
- 空地活用ワークショップを実施したい
- 活用アイデアを募集する仕組みをつくりたい
- 暫定利用アイデアコンテストを開催したい
- 住民と行政が定期的に管理・活用を考える場が必要
- 除草など身近な作業から住民と一緒に始めたい
- 他地域（下北沢など）の事例を学びたい
- 共通の目標像を設定したい
- 早期に一部用地で社会実験を始めたい

## 7．課題・懸念として出てきた意見

- 住民が取得用地を利用するための手続きが分かりにくい
- 管理主体や責任の所在をどうするかが課題
- 活用を始めないうちに舗装が進んでしまうことへの懸念

※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。

# 雨庭ができました。



2月の報告会で「みんなで雨庭を作りませんか？」とよびかけました。

その後、関根橋のたもとで、住民と区の職員による協働作業が進みました。



before

1/3が雨庭に







立て看板が
できました



9月27日
植栽しました

さあ始めるぞ











しがら作ってます

わっしょいわっしょい









「しがら」とは？
土が崩れるのを防ぐために、杭を打ち込んだ間に木の枝や竹を編み込んだ伝統的な柵のことです。日本の土木工事で古くから使われている、自然に優しい工法です。
このしがら柵は虫たちにとっての隠れ家や棲み処にもなります。



完成





虫のアパート
作ってます

住みやすそうだぞ！



あ！ヤモリくんが→





植栽：サラサウツギ、ユキヤナギ、キンシバイ、シモツケ、シロヤマブキ、ジャーマンアイリス

## 今後の「せきねばし雨庭」作業へ参加するためには

杉並区の道路里親制度「すぎなみ美・道路組」への登録が必要です。
住民やボランティア団体が区と協働して道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動が目的です。参加すると自動的に保険に入るので作業時の怪我への不安が軽減されます。強制負担などはありません。現在登録者募集中です。当日の作業スタッフや、下記担当課にお取合せ下さい。

西荻窪地域（仮称）デザイン会議　まちづくり用地の利活用部会　雨庭チーム
沿道のまちデザイン係　℡03-3312-2111　・杉並土木事務所　℡03-3315-4178

※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。